

思いやりを行動に —社員参加で地域社会と交流



デンソーは社会貢献活動の基本方針として、「人づくり」と「環境共生」の2つを重点分野とし、「人づくり」の分野では、障がい者の福祉と青少年の育成活動を推進している。また、お金を出すだけでなく社員一人ひとりが活動に参加する企業風土づくりにも取り組んでいる。多様な活動の中から「デンソーグループハートフルデー」と「アジア車いす交流センター」の取り組みを紹介したい。

デンソーグループハートフルデー

「ハートフルデー」の取り組みは、デンソー創立55周年(2004年12月16日)を機に開始。デンソー本体は94年に社員のボランティア組織ハートフルクラブができ活動を活発化させていたが、デンソーグループ全体としての社会貢献活動を推進するために「ハートフルデー」活動を始めた。創立記念日前後の11～1月の3カ月を強調月間として、みんなで社会貢献をやりようと呼びかけ、2010年には全連結マネジメント対象会社(120社)が年に1回は活動に参加することを目標とした。以来キャンペーン的に海外の地域統括会社と連携して実施し、昨年は世界111社・90%の会社と約4万人

(株)デンソー 総務部 企画2室
室長 川口清司

の社員が参加した。以下、海外での活動のいくつかを紹介する。

ビッグ・ブラザー&ビッグ・シスター

DMMI社(アメリカ・ミシガン州)では、毎月8歳から12歳のひとり親家庭の子どもたち20名程度を会社へ招待し、社内ボランティアのビッグ・ブラザー(お兄さん)とビッグ・シスター(お姉さん)のペア40名が活動している。彼らは招待した子どもたちと一緒に、食事をしたりゲームやいろいろな活動をしたり、普段、会話量の少ない子どもたちの話し相手・相談相手になっておしゃべりをしたりして過ごす。そうした活動を通じて多感な時期の子どもたちの成長に必要な心の安定や友情を提供し、バランスの取れたおとなに成長することを願っている。

四川省大地震の被災者に車いす寄贈

中国では、2003年以降10を超える生産拠点を設立。これから中国での社会貢献活動として車いすの普及活動を推進しようという動きにあった08年5月に四川大地震が発生した。そこで、中国の統括会社が傘下の会社に車いす寄贈活動をやりようと呼びかけて広く募金活動を展開した。その結果、グループ16社から7140名が寄付に参加



(左)子どもたちと遊ぶお兄さんとお姉さん(アメリカ・ミシガン州)
(下)子どもたちと工芸品作り(ブラジル)



四川大地震募金活動

し合計11万円が集まるという大きな活動となった。この資金で115台の車いすを購入して被災による新たな障がい者の方々に寄贈し、多くの感謝の言葉が寄せられた。以来、車いす普及活動は中国での社会貢献の中心活動として継続実施している。

「手工芸品の作り方」ワークショップ

DNBR社(ブラジル・パラナ州)では、低収入家庭の10歳から16歳の子供と大人に手工芸品の作り方を学んでもらう活動を実施している。この活動により、趣味を収入に結びつけることによるモチベーションアップとより良い環境づくりへの意識向上を図っている。質のよい工芸品を作れば自分たちの手で収入を得ることができ、不用品から工芸品にリサイクル可能な材料を見つけることもできる。参加した子どもから、「ワークショップで学んだことは、家計の助けになり自分に自信を持てるようになるだけでなく、よい余暇の楽しみにもなります」という感想も寄せられた。

アジア車いす交流センター

1999年、創立50周年記念事業として、デンソーは、「NPO法人 アジア車いす交流センター」(WAFCA)とタイにおける活動組織「アジア車いす交流センター タイランド」(WAFCAT)を立ち上げた。設立時の事業内容は「車いすの生産支援活動」、「子どもたちの車いすの普及活動」などで、事業規模も大きく歴史も古いタイでの活動を中心とした。車いすを通じての社会貢献を考えた背景は、グループ会社の「デンソー太陽」(特例子会社。障がい者が働く福祉工場)で車いすの社員が



車いすを修理するタイの社員
(右) WAFCAのパンフレット

働いており、障がい者の福祉面でのルーツがあったことと、デンソーはモビリティに関する会社であり、そ



バリアフリートイレ完成式(タイ)の生産技術やノウハウを活かせる分野であるということがあった。

WAFCAは2000年にタイの障がい者団体が運営する「障がい者が生産する車いす工場」の生産支援をし、07年には中国・北京市の福祉会社が運営する「中国初の障がい者による車いす工場」の開設を全面支援した。生産・技術支援をタイはWAFCATとタイデンソーグループ6社の社員が、中国はWAFCAとデンソー社員が中心になって進め、両工場が生産する車いすの一部はデンソーからの資金援助に基づいてWAFCAが買い上げ、障がい者への寄贈用として活用している。この車いすはタイを中心にアジア7カ国へ寄贈され、寄贈台数は累計約2000台(09年3月)となった。

タイでの寄贈活動はタイの障がい者団体と連携し、学校に行けないような恵まれない子どもたちを中心に、毎年贈呈している。WAFCATの活動の一環として3カ所の修理工房で車いすの無料修理も実施しており、寄贈後のフォローもしている。

また寄贈活動に加え、タイデンソーグループのボランティアと一緒に学校でのバリアフリー化にも協力し、車いすの使いやすしい環境づくりにも取り組んでいる。さらに親たちに対して、障がいを持つ子どもの親としての啓発活動も実施し、就学支援の奨学金の支給も実施している。

デンソーグループは、企業市民・地球市民として社会から信頼・共感されるよう、それぞれの地域において社員参加型の社会貢献活動を積極的に推進し、地域社会とのより良い関係づくりをこれからも進めていきたいと考えている。

◆デンソー社会貢献活動：

<http://www.denso.co.jp/ja/csr/social/index.html>

◆WAFCA：<http://www.wafca.jp/>